

県民のあゆみ



- 特集1 2025年、やまがたフルーツ150周年 P.02
- 特集2 やまがたの山を楽しみ、守り受け継ごう! P.04
- 特集3 土砂災害に対する防災意識を高めましょう P.05
- 奏であう人 P.08 / 潜入レポート! P.16

やまがたフルーツ150周年の取組みの一環として「やまがたフルーツEXPO」のフルーツデザイン展を企画する東北芸術工科大学の学生の皆さん。
(撮影協力:土田真澄さんのさくらんぼ園地)

今月の
表紙の
Q

特集

2025年、やまがたフルーツ150周年



いちずに、かじつ。
150th
YAMAGATA FRUITS



いちずに、かじつ。

実直にくだもの作りに打ち込んだ先人たちの挑戦の歴史をふり返るとともに、その思いを未来に受け継ぎ、やまがたフルーツの魅力をお届けします。

やまがたフルーツ150周年 とは

山形県では、1875年（明治8年）にさくらんぼや西洋なしなどの果樹の苗木が導入され、フルーツ栽培が始まりました。以来、県内の果樹農家の方々が長年にわたり栽培に励んできた結果、現在ではさくらんぼと西洋なしの生産量が日本一であるほか、りんごやぶどうなど多様な果物の生産量も全国トップクラスの果樹王国となっています。

2025年は、フルーツ栽培開始から150周年にあたる節目の年です。県ではこれを「やまがたフルーツ150周年」と位置づけ、記念の年を盛り上げるとともに、果樹産業のさらなる発展を目指しています。

また、この機会を生かし、県内外でのイベント開催やタイアップ企画など、多彩な取り組みを展開します。これらの施策を通して、県産フルーツのファン拡大と交流人口・関係人口の創出を図り、山形県の果樹産業の未来を支える基盤づくりに力を注いでいきます。

やまがたフルーツEXPOを 初開催します

県では、果樹栽培の未来を探るとともにフルーツの楽しみ方の裾野を広げることを目的とした「やまがたフルーツEXPO」を初めて開催します。このイベントでは、幅広い層の方々を対象に、さまざまな切り口から山形のフルーツの魅力をお届けします。

やまがたフルーツ EXPO 前夜祭

「フルーツ EXPO」前夜に、グルメや楽しいステージで山形の夏を盛り上げます

- 日時:令和7年8月8日(金)
- 場所:やまぎん県民ホール イベント広場
- 内容:県産フルーツや県の特産品などを使った飲食ブースの出店
・夏の観光PRのステージ企画 など

▶問い合わせ ◎ 観光交流拡大課 ☎023-630-3246 (出店品イメージ)



やまがたフルーツ EXPO

- 日時:令和7年8月9日(土)~10日(日)
- 場所:山形ビッグウイング
- 内容:「未来の果樹園」展(将来活躍が期待されるロボットなどスマート機器の展示・実演)
 - ・フルーツを題材とした小中学生向けサイエンスショー
 - ・県産フルーツを使ったスイーツ作り体験
 - ・旬のフルーツや加工品などの販売 など

▶問い合わせ ◎ 園芸大国推進課 ☎023-630-2414



サイエンスショー



スマート機器の展示



旬のフルーツや加工品の販売

「ポータルサイト」「公式インスタグラム」をチェック!!

「やまがたフルーツ150周年」の取組みを広く周知するため、ポータルサイト、公式インスタグラムを開設しています。

ポータルサイト

- 生産者へのインタビュー
- 県産フルーツや産地の情報
- フルーツレシピの紹介
- タイアップ商品・企画の紹介

アクセスはこちら




～150周年タイアップ企画～

民間企業や市町村と連携して、150周年を盛り上げる商品や催しを募集しています。



公式インスタグラム

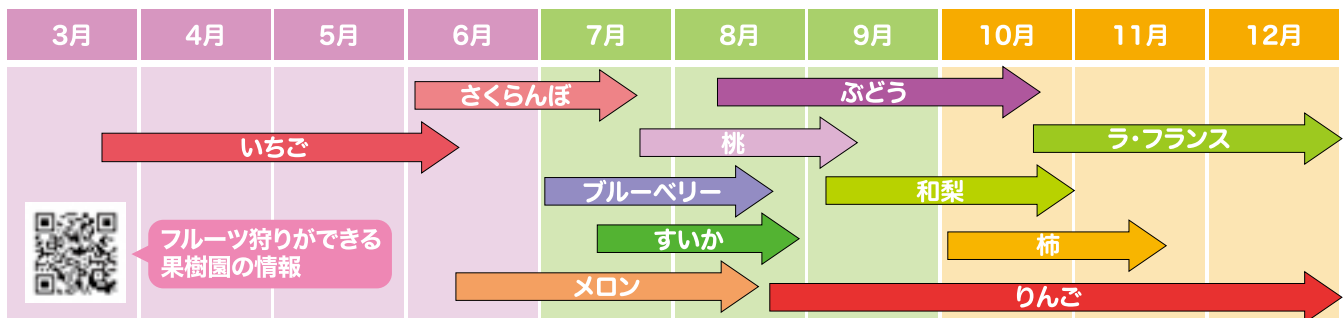
- 旬のフルーツ情報の紹介
- フルーツフラワー
- フォトコンテストの写真 など

アクセスはこちら




▶問い合わせ ◎ 園芸大国推進課 ☎023-630-2414

主なフルーツの旬カレンダー



フルーツに関連した観光企画を現在開催中!

いこおー

●150! やまがた旬スイーツめぐり【令和7年8月31日(日)まで】

県内各地の果樹園や飲食店などで、県産フルーツを使った特別なスイーツを「やまがたフルーツ150周年」にちなんで税込1,500円で提供しています。

参加店舗のスイーツや県内観光地などの写真を、指定のハッシュタグを付けてインスタグラムで投稿すると、毎月抽選で素敵な賞品が当たるキャンペーンも開催中です。

▶問い合わせ ◎ 観光交流拡大課 ☎023-630-3362



特設サイト



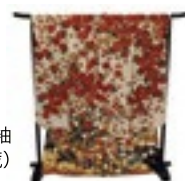
●県立博物館 プライム企画展「さくらんぼ～山形県民、挑戦の結実～」

【令和7年8月31日(日)まで】

さくらんぼの基礎知識や山形の産業の移り変わり、現在のさくらんぼ農家の栽培道具や作業工程について紹介します。

▶問い合わせ ◎ 県立博物館 ☎023-645-1111

白地サクランボ花鳥図文振袖
(県立博物館所蔵)



企画展の詳細



旬のフルーツと一緒に楽しみたい県内各地の観光情報は、山形県公式観光サイト「やまがたへの旅」で検索!

▶問い合わせ ◎ やまがた観光情報センター ☎023-647-2333

アクセスはこちら



やまがたへの旅



マウンテン
魅力満点な
やまがたの山を楽しみ、守り受け継ごう！

県民の宝「樹氷」の危機

蔵王連峰に自生する針葉樹のオオシラビソは、世界に誇る樹氷の土台となり、雄壮で幻想的な景観を生み出します。このオオシラビソが、虫の食害などにより広範囲に渡って枯れ、山形県での被害は約2万3千本にも達しています。

被害発生から10年以上経過し、枝が折れたり木が倒れるなどして、樹氷の存続が危機的な状況にあります。



樹氷を次世代へつないでいくために

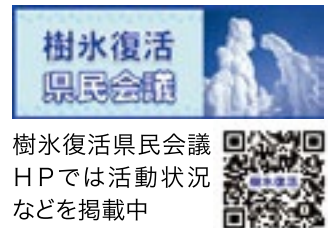
息の長い活動をコツコツと

県では、令和5年3月「樹氷復活県民会議」を設立。林野庁山形森林管理署と連携し、地域の方々や子どもたちとともに苗木の育成や稚樹の移植などの再生活動に取り組んでいます。



オオシラビソの再生をより着実に！

オオシラビソの再生をより着実に進めていくため、令和7年度から有識者や地元の方々と蔵王のオオシラビソ再生の道のりを協議しながら、中長期的な計画づくりに着手します。



やまがた百名山に行ってみよう！温泉や食を満喫しよう！

県内には、素晴らしい景観や眺望を持つ山や山菜などの恵みをもたらす身近な里山など、魅力あふれる山がたくさんあります。県では、そうした山々の中から「やまがた百名山」を選定しています。

深緑に包まれる夏山や、鮮やかな赤に染まる秋の山に足を運び、周辺の温泉や食とともに山の恵みを楽しみましょう！

県山岳情報ポータルサイト



県公式観光サイト



市町村・道の駅などで配布のやまがた百名山探訪マップもぜひ!!

▶問い合わせ © みどり自然課 ☎023-630-3174

～日頃の備えが大事～ 土砂災害に対する防災意識を高めましょう

新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」を公表しました(令和7年1月)

- 令和7年4月現在、「土砂災害警戒区域」は5,231カ所を指定しています。
- 一方、県では、令和7年1月に新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」7,161カ所を公表しており、今後、詳細な調査を行うことで土砂災害警戒区域等の指定を進めていきます。
- 新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」は山形県土砂災害警戒システムで確認できます。

土砂災害は主に土石流、がけ崩れ、地すべりの3種類に分類されます



- ① 川や沢の中でゴロゴロ音がする
- ② 山鳴りや異常なおいがする
- ③ 雨天でも川や沢の水が減る



- ① 小石がパラパラ落ちてくる
- ② 斜面にひび割れができる
- ③ 木が揺れたり傾いたりする



- ① 池の水が濁ったり、減ったりする
- ② 地面にひび割れや段差ができる
- ③ 地鳴りや山鳴りがする

前
ぶ
れ

土砂災害から命を守るために

- ① 「どこ」が危ないか
危険な場所を確かめておこう!

ポイント

土砂災害警戒区域などの危険な場所を山形県土砂災害警戒システムや市町村のハザードマップで確認しよう!

- ② 「いつ」逃げるのか
雨の情報や避難の情報を確かめよう!

ポイント

テレビや気象庁のホームページで雨の情報を確認しよう! 市町村からの避難の情報にも注意しよう!

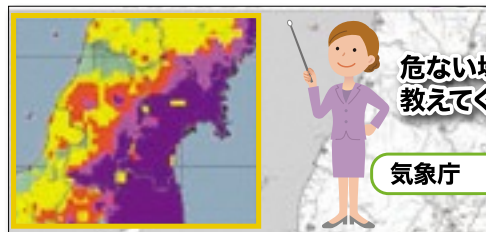
- ③ 「どう」逃げるのか
正しい避難の方法を身につけよう!

ポイント

ハザードマップで、避難の場所や避難の方法を確認しよう! いざという時に持っていく物も準備、確認しよう!



詳しくは



▶ 問い合わせ © 砂防・災害対策課 ☎023-630-2614

Kensei
Topics
1

おいしく豊かなみのりを願って

「つや姫」「雪若丸」田植えイベント(令和7年5月27日 村山市)

「つや姫」と「雪若丸」をPRするため、吉村知事と村山市立戸沢小学校5年生10名が田植えを行いました。吉村知事は「秋には、山形のおいしい『つや姫』、『雪若丸』を全国にお届けできるよう、心を込めて田植えをしましょう」とあいさつしました。児童たちは田んぼのぬかるみに足を取られながらも、お米がおいしく豊かに実るように、丁寧に手植えをしました。また、田植えに合わせて、新品種「ゆきまんてん」の紹介も行いました。



Kensei
Topics
2

「さくらんぼ県やまがた」ラッピングバス、5月1日デビュー!

「さくらんぼ県やまがた」ラッピングバスのお披露目式(令和7年5月1日 山形市)

やまがたフルーツ150周年を山形県全体で盛り上げるため、県庁前広場でラッピングバスのお披露目式を開催しました。「さくらんぼのおいしさ」や「さくらんぼ狩りの楽しさ」をより多くの方に知っていただき、山形県にお越しいただきたいとの願いを込めて制作しました。ラッピングバスは、山形・仙台間の高速バスや庄内空港から鶴岡・酒田間の路線バスとして7月31日まで運行し、さくらんぼの生産量日本一を誇る山形県をPRしていきます。



Kensei
Topics
3

さくらんぼと山形県、県立博物館プライム企画展スタート!

さくらんぼ～山形県民、挑戦の結実～ 県立博物館プライム企画展(令和7年5月31日～8月31日 山形市)

県立博物館では、「やまがたフルーツ150周年」を迎え、本県のシンボル「さくらんぼ」に秘められた魅力と新たな可能性に注目する企画展を開催しています。この企画展では、さくらんぼと歩んだ県内の暮らしや産業の移り変わりに関する資料を展示するとともに、さくらんぼの収穫から私たちの手元に届くまでの作業工程などについても紹介しています。期間中は、さくらんぼに関する寄席や展示解説会などの関連行事も開催します。



県内の鉄道の魅力発信ポータルサイトがオープン

「のってぐやまがた」開設(令和7年3月26日)

山形の鉄道をぐっと身近に感じられるポータルサイト「のってぐやまがた」を開設しました。

鉄道で気軽に行ける駅周辺のイベント情報や観光スポット、主要駅のバス情報、経路検索サイトのリンク集など、便利なお役立ち情報で鉄道の利用をサポートします。

「のってぐやまがた」を通じて、山形の鉄道の魅力を再発見していただき、県内外の皆様にもっとご利用いただけるよう、今後もコンテンツの充実を図っていきます。



山形ワイヴァンズ、最終戦を勝利で締めくくる!

山形ワイヴァンズ vs 愛媛オレンジバイキングス(令和7年4月20日 愛媛県)

プロバスケットボール男子Bリーグ2部の山形ワイヴァンズは、愛媛オレンジバイキングスと2024-25シーズンの最終戦を戦いました。試合は、日本人選手と外国人選手の息の合った連携プレーにより、山形ワイヴァンズが序盤から得点を重ね、最終的には85対69で勝利を収めました。石川ヘッドコーチは、「最後まで自分たちらしいバスケットボールを展開し、勝利で締めくくることができた」と語りました。2025-26シーズンの更なる活躍を期待しています!



©B.LEAGUE

知(事)
コラム

水稻新品種「山形142号」
名称は「ゆきまんでん」に決定!

水稻新品種「山形142号」の名称は、県内の小中学生を中心に、県内外から3千件を超える多くの応募があり、その中から、「ゆきまんでん」に決定しました。

これは、村山市在住の小学5年生の児童の方から応募いただいたもので、「雪のように白く、おいしさ満点、笑顔満天のお米」ということで、「ゆきまんでん」と名付けたそうです。

この品種の白く、大粒で、おいしいという特徴をよく表していますし、何より皆さんが笑顔になれるような、とても素敵な名前を考えていただいたと思います。

「ゆきまんでん」は、「雪若丸」を親に持ち、「はえぬき」のひ孫にあたります。皆さまの食卓に届けられるのは令和9年とまだ先の話になりますが、楽しみに待っていてください。

また、「つや姫」は、米国ハワイ州でのプロモーション実施から今年で10年となり、現地ではトップブランド米の地位が定着しています。5月には米国ハワイ州に赴き、さらなる販路拡大に向けて本県農産物などの魅力を強力に発信し、その他の本県の魅力についても発信してまいります。

「つや姫」のように、「ゆきまんでん」も国内外の多くの皆さまから味わっていただけるようになったらうれしいですね。



奏であう人

vol.82



ほり え もり ひろ
堀江 守弘さん(飯豊町)

1981年飯豊町生まれ、同町在住。エイチ・アンド・カンパニー(株)代表取締役。大学卒業後スウェーデンに2年間スキー留学したのち、プロのアスリートとして、スキーの世界選手権やワールドカップを転戦する。2017年、飯豊町にリターン。水没林のカヌーツアーを主軸にアウトドアガイドを行うほか、近年では気球フライト体験など、新たな事業にも着手する。



水面から空へと伸びる木々の間をカヌーで行き交うアクティビティは、日本で唯一無二のものとして、旅行者から注目を集める。世界の自然を見てきた中で、山形のオンリーワンの魅力を再認識し、「地域の魅力をグローバルへ」と心を燃やし活動している。



い が ら し じょう
五十嵐 丈さん(鶴岡市)

1993年鶴岡市生まれ、同市在住。Green Blueあつみで観光コーディネーターとして、自然や文化体験プログラムの企画・体験サポートを行う。一方、限界集落となった生まれ故郷に産業を興すための事業に関わり、羽越のデザイン企業組合で地域振興にも携わる。また、フォトグラファーとしても活動し、持続可能な地方での暮らし方を模索している。



夏はサップやカヤックなど、海のアクティビティを提供するほか、鼠ヶ関のイカ一夜干し作りや「しなの糸」を使ったクラフト体験など、地域の自然や文化を生かした多彩な体験プログラムを展開。また、教育旅行の受け入れにも積極的に携わる。

「自然」と「暮らし」が地域を盛り上げる種に

アクティビティや文化体験を提供する五十嵐丈さんと、水没林のカヌーツアーなどの自然体験を提供する堀江守弘さんに、地域の独自性やその魅力についてお聞きしました。

日常の風景を旅の目的に 変える地域価値の発見

「山形は、変化の大きい四季や独自の食文化など、さまざまな魅力に溢れています。海外生活で山形の魅力を再発見しました」。そう話すのは、飯豊町を拠点に活動する堀江さん。地元を元気にする仕事がしたいと、アウトドア体験を中心に、地域の魅力を伝える事業を展開しています。

「コロナ禍のアウトドアブームによって、水没林でのカヌーツアーを、旅の目的としてくれる方が増えました。早朝のカヌーツアーでは、幻想的な雰囲気です。以前は無名に近かった白川湖の水没林ですが、今や地域に人を呼び込む吸引力となり、町の観光を変える大きな要素になっていと感じます」。

カヌーを漕ぎながら交わす何気ない会話も、地域の魅力を伝える良い機会になっていると堀江さんは話します。

一方、鶴岡市の温海地域を中心に、観光コーディネーターとして活動す

る五十嵐さんは、大学時代から地元の過疎化に危機感を抱き、観光業に関わりはじめました。

「地域には、価値があっても価格がつかないものがたくさんあります。観光商品として企画、販売することで、地域に人の流れや経済の循環が生まれると考えています。人口100人に満たない地区であっても、そのなかで仕事を作れたなら、少なくとも過疎化を先延ばしすることができると仮説を立て、地域に根付いた文化や、日本海での体験プログラムを提供しています」。

しな織体験で子どもたちが関川地区を訪れた際、元気な声が響き、にぎやかでうれしいと地域の方々が喜んでいただくと五十嵐さんは話します。

人と人とのふれあいが、 観光の価値も高めていく

それぞれに活動を続ける中で見えてきたのは、価値に気づく力の重要性だ」とお二人は話します。

「県内の教育旅行の目的地が都市部に集中している現状は、魅力は外にある」と思ってしまう要因にな

るのかも知れません」と堀江さん。

「小さい頃から山形の自然や文化に触れ、魅力に気づくことで、進学などのタイミングで都市部へ流出してしまう若者を減らすことにもつながるのでは」と話します。

その言葉に五十嵐さんもうなずき、「私たち受け入れ側の質が高まれば、県内の各地域が連携して、好循環が生まれるはず」と応えます。

また、お二人が山形の魅力として強調するのは、「ふれあいの力」。

「県外からの観光客の多くは、人のあたたかさに感動してくれます。人の心もまた、大切な観光資源になるのです」と堀江さん。

五十嵐さんは「同じ観光地に何度も行く人は少ない。でも、心に残る交流があれば、再び訪れる理由になるはずです」と、小さな移住体験のような手法で、関係人口の創出にも力を入れたと話します。

お二人のまなざしの先には、県民自らが地域に誇りを持ち、その魅力を伝えていくことで、持続的に発展していく山形の未来が、はっきりと描かれています。



商工労働観光常任委員会

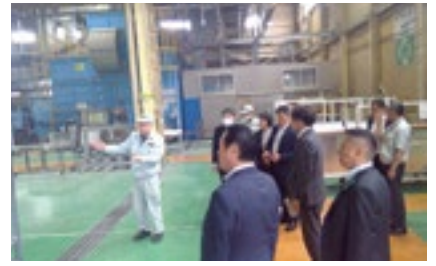
商工業の振興、労働対策、観光・文化の振興、スポーツによる地域活性化など

◎4月閉会中委員会の主な質疑項目

- ・ 県内企業の倒産の状況およびその要因について
- ・ 少子化や部活動改革などが地域スポーツに与える影響について

◎現地調査（令和7年5月13日～15日 最上・庄内地域）

- ・ 新たに整備された観光施設や県内企業の先端技術などについて調査



▲現地調査の様子

建設常任委員会

県土（道路・河川・空港・港湾等）の整備、公営企業（電気・水道等）の推進など

◎4月閉会中委員会の主な質疑項目

- ・ 「山形県空き家対策エリアマネージャー」の認定状況について
- ・ 職員の業務中における安全確保に係る取組状況について

◎現地調査（令和7年5月28日～30日 村山・置賜地域）

- ・ 生活関連施設の運用状況や治水安全度向上に向けた取組みなどについて調査



▲現地調査の様子

東北中央道、日沿道の建設促進と 羽越・奥羽本線などの高速化促進を要望

5月22日、東京都内で東北中央自動車道・日本海沿岸東北自動車道の建設促進および羽越・奥羽本線などの高速化促進に向けた各協議会理事会を開催し、本県をはじめ、青森県、秋田県、福島県および新潟県の5県議会から議長らが出席しました。その後関係機関に対し要望活動を実施しました。



北海道・東北六県議会議長会議で 政府への要望事項を協議

5月20日、青森県青森市内で北海道・東北六県議会議長会議が開催されました。本県からは田澤伸一議長と榎津博士副議長が出席し、交通網の整備促進と財源確保、高齢者・障がい者施策の推進、食料・農業・農村政策の確立など計22項目を政府に要請することを決定しました。



会議
活用

特別委員会

常設の常任委員会のほか、議決により特定の問題を審査・調査するために必要に応じて設置される委員会のこと。

令和7年度は、防災減災・災害に強い県土づくり対策、こども支援・若者定着対策、再生可能エネルギー活用・地域経済活性化対策などの特別委員会を設置しています。

広報・広聴委員会の紹介

県議会では、広報・広聴委員会を設置し、開かれた県議会の実現に向けて取り組んでいます。委員会では、この「県議会だより」の編集内容も協議しています。県民の皆さんの県議会に対する理解が深まるような紙面づくりや情報提供に努めていきます。



県議会の情報は、
山形県議会ホームページに
満載です。
ぜひご覧ください!!

- ① 定例会の概要や議会の日程
- ② 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- ③ 可決した意見書・決議の内容
- ④ 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- ⑤ 会派ごとの議案等に対する賛否状況 など



常任委員会の役割

常任委員会は、議案などについてその専門ごとに詳しく審査する常設の委員会です。その審査結果は、本会議での採決の際に重要な判断材料となるため、委員会の所管事項について見識を深める調査・活動を行っています。

各委員会の所管事項および4月閉会中委員会の主な質疑項目などは次のとおりです。

各委員会の
活動状況は
こちらからご覧
いただけます!



総務常任委員会

行財政の運営、総合的な企画調整、地域振興、国際交流、防災・県民生活の安全など

◎4月閉会中委員会の主な質疑項目

- ・県人口の現状と人口減少対策の方向性について
- ・東北公益文科大学の機能強化に係る検討状況および方向性について

◎現地調査（令和7年5月12日～14日 最上・庄内地域）

- ・交流人口の拡大や地域課題解決に向けた取組みなどについて調査



▲現地調査の様子

文教公安常任委員会

学校教育や社会教育の振興、警察行政など

◎4月閉会中委員会の主な質疑項目

- ・県立高校未来創造ビジョン策定に向けた今後の進め方について
- ・自転車運転中の携帯電話使用と酒気帯び運転違反の状況および対策について

◎現地調査（令和7年5月26日～28日 村山・置賜地域）

- ・県立学校の特色ある授業や警察署・警察学校の活動状況などについて調査



▲現地調査の様子

厚生環境常任委員会

生活環境・エネルギー対策、子育て支援、男女共同参画、保健・医療・福祉対策、病院事業など

◎4月閉会中委員会の主な質疑項目

- ・県内の訪問介護事業者の経営状況および事業者支援の取組みについて
- ・有害鳥獣被害対策に係る持続可能な体制整備について

◎現地調査（令和7年5月27日～29日 最上・庄内地域）

- ・農福連携の取組状況や民間立保育所の運営状況と課題などについて調査



▲現地調査の様子

農林水産常任委員会

農業・林業・水産業の振興など

◎4月閉会中委員会の主な質疑項目

- ・令和6年7月25日からの大雨被害における農地や農業用施設の復旧状況について
- ・やまがたフルーツ150周年に向けたさくらんぼの生産量確保の取組みについて

◎現地調査（令和7年5月12日～14日 村山・置賜地域）

- ・有機農業の実践状況や高品質交雑牛の輸出の取組みなどについて調査



▲現地調査の様子



デラウェア

本県が生産量日本一を誇る品種。一房にぎっしりと粒が詰まって、果汁たっぷり。甘さが格別で食べやすいのが魅力です。

●収穫期：7月下旬～9月下旬



ピオーネ

糖度が高く香りがよく、適度な酸味で濃厚な味わいが特徴の品種。果肉がしまっていて、日持ちが良いのも優れた点です。

●収穫期：9月～10月上旬



クイーンニーナ

果皮が赤色で、糖度が高く酸味は控えめ、強い甘みの特徴の品種。大粒で果肉がしまり、十分な食べ応えが魅力です。

●収穫期：9月～10月上旬



シャインマスカット

近年特に人気の高い品種。皮ごと食べられて、粒のパリッと弾ける食感が好評です。みずみずしい味わいと爽やかな香り、濃厚な甘さが特徴です。

●収穫期：9月～10月中旬



巨峰

大粒で黒紫色、濃厚な香りと強い甘みが特徴の品種。甘さだけでなく、程よい酸味も感じられ、調和のとれた風味が楽しめます。

●収穫期：9月～10月下旬

山形のおいしいものをインターネット販売しているサイトをご紹介します!



問い合わせ ©園芸大国推進課 ☎023-630-2453

地域の旬だより

各地からの情報をお届けします。

置賜

置賜地域の文化活動を応援!

「置賜文化フォーラム」は、置賜地域の文化振興を目的に、置賜総合支庁、置賜管内各市町、芸術文化協会および置賜教育事務所で構成され、主に3つの事業を行っています。

1つ目は、文化事業への支援です。置賜地域で文化活動に取り組む団体に、補助金を交付しています。2つ目は、置賜地域の子どもたちの文化活動への応援です。毎年秋に活動の発表の場として「置賜子ども芸術祭」を開催しており、今年も、10月25日にシエルターなんようホールで開催されます。3つ目は、若手アーティストの魅力発信です。展覧会「ARTS MEET OKITAMA」における賞の設置や、置賜地域のアーティストによるワークショップの開催などを行っています。

SNSで情報を発信していますので、ぜひご覧ください!



置賜文化フォーラム HP



置賜文化フォーラム Facebook



若手アーティストによるワークショップの様子



置賜子ども芸術祭の様子

問い合わせ © 置賜総合支庁総務課連携支援室 ☎0238-26-6018

やまぎん県民ホールイベント情報

東北芸術工科大学 工芸デザイン学科 3年生展 工藝博2025

芸工大×やまぎん県民ホール共同企画展覧会「工藝博」初開催！工芸デザイン学科の3年生がそれぞれの分野の視点から思考し制作した作品を展示します。7月11日(金)、12日(土)、13日(日)にはクラフトフェアも実施！

開催期間	7月4日(金)～13日(日)
会場	1階ロビー他
料金	無料

◎詳しくは [やまぎん県民ホール](#)

問 やまぎん県民ホールチケットデスク
☎023-664-2204 (受付時間:水～月10:00～19:00)

トヨタカロラ山形presents めざましクラシックス in 山形

人気ヴァイオリニスト 高嶋ちさ子とフジテレビアナウンサー 軽部真一による人気コンサートシリーズ！



©フジテレビジョン

開催日時	7月5日(土) 午後3時
出演	ヴァイオリニスト:高嶋ちさ子 フジテレビアナウンサー:軽部真一 スペシャルゲスト:森崎ウィン ほか
料金	S席7,000円 A席6,500円 B席5,000円 U-20(B席)2,500円

デビュー35周年記念 石丸幹二 オーケストラコンサート2025

日本を代表するミュージカルスター・石丸幹二がオーケストラコンサートツアーを開催！山形公演ゲスト・笹本玲奈、山形交響楽団との豪華共演もお見逃しなく！



©HIRO KIMURA

開催日時	8月9日(土) 午後3時
出演	石丸幹二 ゲスト:笹本玲奈 指揮:円光寺雅彦 管弦楽:山形交響楽団
曲目	ミュージカル『エリザベット』『ジギル & ハイド』より、マイ・ウェイ 他
料金	S席12,000円 A席9,500円



山形交響楽団演奏会

庄内定期演奏会 第34回鶴岡公演

開演日時	7月21日(月・祝) 午後3時
出演	指揮:ユベール・スターン ギター:福田進一
曲目	チャイコフスキー:幻想序曲「ロメオとジュリエット」、ヴィラ＝ロボス:ギター協奏曲、チャイコフスキー:交響曲 第4番 へ短調 作品36
会場	荘銀タクト鶴岡 大ホール(鶴岡市)
前売券	A席5,500円 B席5,000円 学生B2,500円 Bベア9,000円 ※学生券は24歳までの学生の方が対象です

◎詳しくは [山響](#)

第326回定期演奏会

開演日時	8月2日(土) 午後7時 8月3日(日) 午後3時
出演	指揮:沼尻竜典 ヴァイオリン:堀米ゆづ子
曲目	バルトーク/舞踊組曲 BB.86a、サン＝サーンス/ヴァイオリン協奏曲 第3番 口短調 作品61、シューマン/交響曲 第3番 変ホ長調「ライン」作品97
会場	山形テルサホール(山形市)
前売券	A席5,500円 B席5,000円 ほか

問 山響チケットサービス ☎023-616-6607

問 県民文化芸術振興課 ☎023-630-2903



プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

日時	対戦チーム
7月12日(土) 午後7時	ジェフユナイテッド千葉
8月10日(日) 午後7時	水戸ホーリーホック
8月16日(土) 午後7時	いわきFC
8月30日(土) 午後7時	サガン鳥栖

◎会場:NDソフトスタジアム山形(天童市)

◎詳しくは [モンテディオ山形](#)

問 スポーツ振興課
☎023-630-3156

旬のやまがた

美食レシピ

recipe

畑なすチーズピザ



●材料(4人分):

畑なす 1個、チーズ適量、ケチャップ適量、黒こしょう適量、バジル適量

●作り方:

- 畑なすを1センチくらいの輪切りにして、水にさらす。
- 600Wのレンジで約1分半ほど温める。
- その上にケチャップを塗り、上にチーズをのせる。
- 黒こしょうを振る。(塩こしょうでも可)
- オーブンで3分焼き、ちぎったバジルを散らす。

問い合わせ ◎ 最上総合支庁農業振興課 ☎0233-29-1315

伝統野菜 畑なす

●収穫時期:7月中旬～9月下旬

最上地域で古くから栽培されている最上伝統野菜※の一つです。

『畑なす』は、大玉の丸なすで、実も皮も柔らかい上に、調理しても煮崩れしにくく、焼きなすやみそ漬けなどにしてもおいしいです。

※最上伝統野菜:最上地域特有で概ね昭和20年以前から栽培されている野菜・豆類で自家採種しているもの。現在33品目が認定されている。



【最上伝統野菜ロゴマーク】



◎東海林晴哉

“明るいやまがた”夏の安全県民運動 (7月22日(火)~8月21日(木))

夏は旅行、海や川でのレジャーの機会が増えます。しかし、長期休暇や暑さにより、気のゆるみや疲れが出やすくなり、交通事故や水の事故、青少年の非行や身近な犯罪などが多くなる傾向にあります。県民みんなでこれらの事故などを防止し、青少年の健全育成に取り組みながら、安全で楽しい夏を過ごしましょう。

● 消費生活・地域安全課
☎023-630-2460

食中毒にご注意ください！

気温も湿度も高くなる時期です。食品を取り扱う際は、しっかり手を洗いましょう。調理器具を清潔にし、食品は冷蔵庫で保管して、調理後はなるべく早く食べることを心がけましょう。また、加熱できるものは中心部までしっかり加熱して、食中毒を予防しましょう。

「つけない! 増やさない! やっつける!」
● 食品安全衛生課 ☎023-630-2677

山形県郷土館(文翔館)旧県会議事堂 の見学および利用の休止について

山形県郷土館(文翔館)旧県会議事堂について、冷暖房設備の老朽化に伴う更新工事を行います。工事に伴い、令和7年12月から令和8年5月末まで、旧県会議事堂の内部見学および利用(貸館)ができなくなります。なお、文翔館旧県庁舎は従来通り見学および利用が可能です。

● 山形県郷土館(文翔館)
☎023-635-5500

第27回参議院議員通常選挙

参議院議員の任期満了に伴い、選挙があります。

**期日前投票も活用し、
忘れずに投票しましょう！**

※投票所、投票時間については、各市町村の選挙管理委員会
にお問い合わせください

● 選挙管理委員会事務局 ☎023-630-2081

親子で、家族で、
一緒に投票へ！



めいすいくん

地震対策を行う住宅改修に対し 助成を行います

地震の被害から命と財産を守るため、住宅の耐震改修や減災対策工事に対する支援を行っています。今年度は補助上限額を引き上げ、対象工事を追加していますのでぜひご活用ください。なお、市町村により募集時期や補助内容が異なりますので詳しくは県ホームページをご覧ください。

申請窓口・詳細はこちら▶



● 建築住宅課

☎023-630-2640

労働悩みごと相談会のご案内 (相談無料・秘密厳守・事前予約制)

労使間のトラブル(パワハラ、解雇、退職できないなど)でお悩みの方は、県労働委員会へご相談ください。労働問題の専門家が相談を承ります。

◆日時 7月10日(木)・8月21日(木)
午後1時~午後2時

◆会場 村山総合支庁本庁舎6階
(オンライン相談可)

ご予約はこちら▶



● 労働委員会事務局

☎023-666-7784

プレゼントクイズ

ヒント
2~3ページ
特集

今年2025年は、さくらんぼや西洋なしなどの果樹の苗木が山形県に導入されてから「〇〇〇」周年の節目の年です。さて、〇〇〇(数字3文字)には何が入るでしょうか？

正解者の中から抽選で右記賞品(指定はできません)をプレゼント!はがきに①クイズの答え②「県民のあゆみ」への感想など③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。Eメールでの応募の場合は、本文に①~③をご入力の上、タイトル「プレゼントクイズ」で、y-ayumi@pref.yamagata.jpに送信してください。

メール送信はこちら▶



あて先: 〒990-8570(住所は不要です)山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」7月号プレゼントクイズ係

締め切り: 7月31日(木)(当日消印有効) ※応募いただいた個人情報は、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



A賞

のら農園のさくらんぼサンド【5名様】
のら農園 第5回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」山形県知事賞



B賞

すいか尾花沢ジュース【10名様】
味高フーズ株式会社 第5回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」飲料・アルコール部門 最優秀賞





おいしい山形 インフォメーション

催し物

オープンキャンパス情報

オープンキャンパスに参加するには事前申込みが必要です。詳しくは各学校・施設のホームページをご覧ください。

県立米沢栄養大学(米沢市)

◆日時 8月2日(土)、8月3日(日)
午前11時～午後3時40分
体験授業や在学生との懇談を行います。
☎0238-22-7340

県立米沢女子短期大学(米沢市)

◆日時 7月26日(土)、7月27日(日)
午前11時～午後4時
体験授業や在学生との懇談を行います。
☎0238-22-7340

県立保健医療大学(山形市)

◆日時 7月5日(土)、7月6日(日)
①午前9時30分～午前11時45分
②午後1時15分～午後3時30分
施設見学や在学生との懇談を行います。
☎023-686-6688

県立産業技術短期大学校(山形市)

◆日時 7月27日(日)
午前9時30分～午後4時
学校の概要説明のほか、学科別に体験授業を実施します。
☎023-666-8792

県立産業技術短期大学校庄内校(酒田市)

◆日時 7月27日(日)午前9時30分～正午
学校の概要説明のほか、学科別に体験授業を実施します。
☎0234-31-2300

県立山形職業能力開発専門学校(山形市)

◆日時 7月12日(土)
午前9時30分～午後0時30分
学科別に体験授業を実施します。
☎023-644-9227

県立庄内職業能力開発センター(酒田市)

◆日時 7月13日(日)
①午前9時30分～午前11時30分

②午後1時30分～午後3時30分
施設見学や体験実習を行います。
☎0234-31-2700

東北農林専門職大学(新庄市)

◆日時 7月13日(日)、7月27日(日)、8月30日(土)
午前10時～午後4時
大学の教育内容・研究環境の説明のほか個人面談や実習体験、模擬講義を行います。
☎0233-25-8302

附属農林大学校(通称:山形農林大学校)(新庄市)

◆日時 7月12日(土)、7月26日(土)、8月17日(日)
午前9時30分～午後2時30分
学科別の体験実習、校内バスツアー、学生寮での昼食など、学校概要や学生募集説明のほか個別相談を行います。
☎0233-22-1528

やまがた合同企業セミナー

県では、就職活動が本格化する前の県内外の学生(令和9年3月以降卒業予定の学生)を対象に、「やまがた合同企業セミナー」を開催します。

学生の皆さんの就活準備に役立てていただきたいと考えておりますので、ぜひ、ご参加ください!

- ◆開催日 8月28日(木)
- ◆会場 山形テルサ3階アプローズ
- ◆詳細・お申込みは、特設サイトをご覧ください
- ☎雇用・産業人材育成課 ☎023-630-3265



お知らせ

～農家の皆さまへ～

「収入保険」のご案内

「収入保険」は、全ての農産物を対象

に、自然災害や市場価格の低下、病気・怪我など、経営努力では避けられないあらゆるリスクから「収入減少を補償する」公的な保険制度です。山形県農業共済組合では、令和8年の補償に向けた加入申請を随時受け付けています。

- 対象:青色申告を行っている農業者
- 申込期限:
(個人)12月末まで
(法人)事業開始月の前月末まで
- 申込先:山形県農業共済組合 ☎023-665-4700

詳しい内容は
こちら



☎農政企画課 ☎023-630-3381

「愛の血液助け合い運動」

7月は「愛の血液助け合い運動」月間です。治療に使われる輸血や血液製剤は、献血で提供された血液からつくられます。あなたの献血が誰かの未来を支えることに繋がります。必要とする患者さんに血液をお届けできるよう、献血にご協力をお願いします。

献血ルームSAKURAMBO

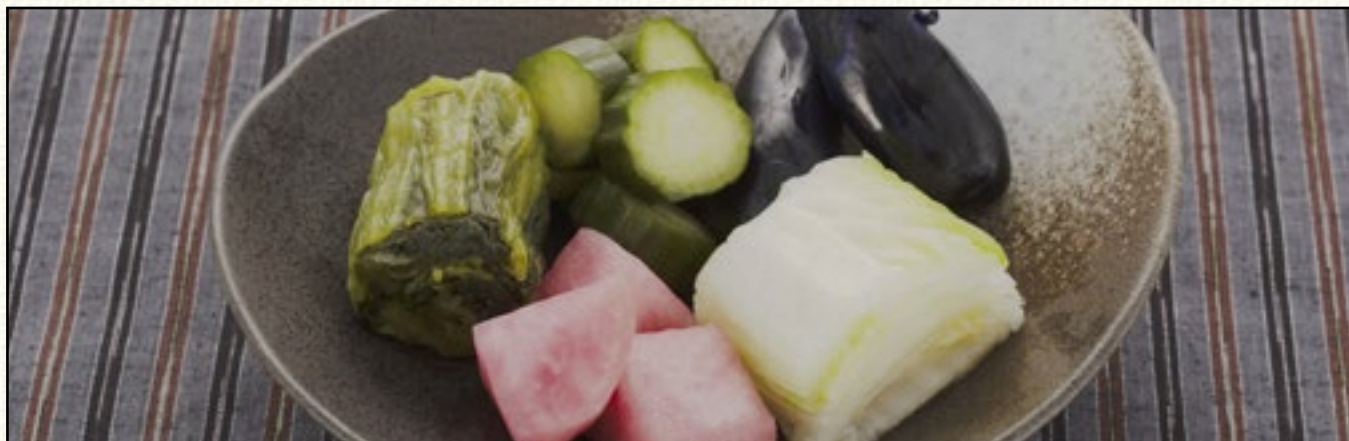
住所	山形市香澄町2-2-36 山形センタービル5階
電話	☎0120-107-093
予約受付時間	午前9時～午後5時 ※ご来場前日の上記時間内で予約をお願いします。

ほかにも、県内のスーパーなどへ移動献血車が運行しています。

バスの運行状況・予約や献血ルームの詳細については
こちら▶



☎健康福祉企画課 ☎023-630-2333





どうなってるの!?

やまがたけんりつしんじょうびょういん 山形県立新庄病院

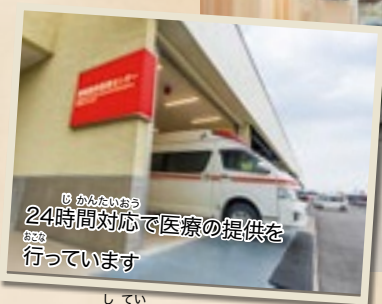
れいわ ねん あたら 令和5年に新しくなった新庄病院。 もがみ ちいき やくわり にな 最上地域でどんな役割を担っているの?

より高度な医療体制を整え、地域の皆さんに安心できる暮らしを提供しています。

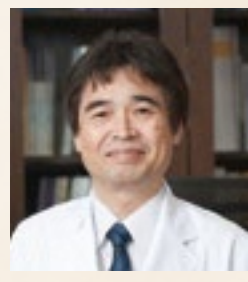
令和5年10月に新しくなった県立新庄病院は、患者さんを早く運ぶためのヘリポートを備えた「地域救命救急センター」を設置しました。また、最上地域で唯一分娩(出産)を扱い、小さな赤ちゃんとお母さんを一緒に支える病院として、地域の皆さんに安心してもらえる医療サービスを提供しています。

また、建物のいたるところに県産の木材を使い、利用する人が木のぬくもりを感じられるようになっています。

この病院は、災害時に医療の中心となる病院にも指定されているため、地震の揺れを建物に伝えにくくする免震装置が地下に設置されています。これにより、大きな地震にも耐えられる構造になっています。また、大雨で洪水が起こったときに水が入ってこないよう、病院の敷地全体を2メートル高くして、災害時でも安心して医療が受けられるようにしています。



地域救命救急センターの処置室は手術室にも素早く移動できます



山形県立新庄病院
八戸 茂美 院長

新しい新庄病院では、地域救命救急センターや総合患者サポートセンターを設置したほか、さまざまな病気にしっかり対応できるよう、最新鋭のCTやMRIなどの医療機器も導入しています。これからも地域の皆さまに「安心・安全・信頼」の医療を提供していきます。



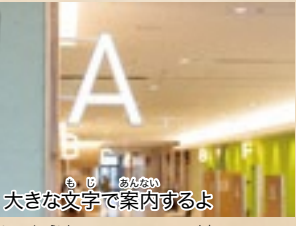
高い専門性で医療を支える

がん患者さんのための抗がん剤は、薬剤師が「安全キャビネット」という装置を使って、不純物が混ざらないように無菌的に作っています。



司書さんがいる図書室!

図書室では医療や健康の図書のほか、新書や雑誌、マンガなどもあります。隣にカフェもあり、付き添いの方や患者さんの気分転換にも喜ばれています。



大きな文字で案内するよ

外来や入院の患者さんが迷わないためにも、大きく見やすい看板で診察室や処置室の場所をお知らせ。デザイン性とアクセスの良さが評判です。



揺れを軽減する仕組みは地下にある!

免震装置は巨大な地下空間に設置。地震のあとにも医療を続けられるように免震装置が建物の揺れを軽減します。

